

校長室から

(H29年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 38

平成29年12月19日(火)発行

二学期がもうすぐ終わります

二学期の始業式のあの暑さを覚えていますか？夏がいつのまにか過ぎ去り、秋になり、そして冬がやってきました。三つの季節にまたがった長い二学期でした。みなさんの奮闘に心から拍手を贈りたいと思います。

さて、年末年始には大きな行事がいくつもあります。みなさん、とても楽しみですね。でも、ただ楽しむだけでなく、その意味も知ってほしいと思います。

多くの人が楽しみにしている、クリスマス。

「クリスマスは、サンタさんの来る日」ではありません。本当はキリスト教を信じる人たちにとっての大事な記念日です。つまり外国で行われていた行事が日本に伝わってきたのです。日本では今から約110年ほど前、明治時代から少しずつ盛んになってきました。その当時人気のあったプレゼントは「歯磨き粉」だったそうです。

では、日本でもっと昔からある年末年始の行事はなんでしょう？

12月31日は大晦日（おおみそか）と言いますね。晦日とは、毎月の最後の日のことを言います。例えば、11月の最後の日30日は晦日です。晦日は毎月あるのです。そして、一年の最後の日だけは「大」をつけて「大晦日」と言うのです。

この大晦日にはいろいろな行事があります。

まず、年越しそば。みなさんの家でも大晦日におそばを食べることが多いと思います。ある調査によると10人中6人ぐらいは、大晦日におそばを食べるそうです。

どうしておそばを食べるのでしょうか？これには、いろいろな説があります。まず、おそばは細くて長いので、細く長く健康に暮らせるという考え。次に、昔、金箔をつくる職人さんが、飛び散った金箔を集めるのにそば団子を使ったことから、そばはお金を集める縁起物という考えもあるようです。いずれにしても、大晦日におそばを食べるととても縁起がよいと考えられてきたのです。

次に、除夜（じょや）の鐘（かね）です。鐘があるのはお寺です。鳥居のある神社には鐘はありません。除夜の鐘は108回鳴らされます。この回数は決まっています。

仏教では人間には108つの煩惱（ぼんのう）があるとされています。煩惱というのは簡単に言うと人の心を迷わせたり、くよくよ



悩ませたりする元になる物です。それを大晦日には108回鳴らして一つひとつ取り払うのです。そう言えば、あのゴーン、ゴーンという鐘の音を聞かたびに心が軽くなっていくような気持ちさえします。

108回の鳴らし方にも決まりがあります。107回までは大晦日のうちに鳴らします。108回目、つまり最後の1回だけは、真夜中の新年に変わってから鳴らすのだそうです。

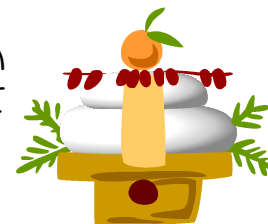
お正月。みなさんも知っているとおり、新しい年をお祝いする大事な祝日です。お正月には、作物をたくさん実らせてくれたり、みんなの健康を守る神様がやってくると考え、それを鏡餅（かがみもち）や松飾りでお迎えしてみんなでお祝いする日なのです。

昔はこれにもう一つのお祝いが含まれていました。元日は、国民全員が一斉に一歳年を取る日だったのです。今は、生まれたときはゼロ歳。自分の誕生日になって初めて一歳となります。こういう年齢の数え方を満年齢（まんねんれい）と言います。昔は、数え年と言って、生まれた瞬間に一歳、そして元日になると誕生日に関係なくみんな一斉に年を一つ取ったのです。すると、大晦日に生まれた子はどうなるでしょう。生まれた31日は一歳。次の日元日には二歳になっているのです。たった一日で二歳になるのです。びっくりですね。

一年を終えるにあたって、先生方はじめお世話になった人たちに、「ありがとうございました」とあいさつをしてほしいと思います。新年には、家族や地域の人に、「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします」とあいさつをしましょう。

日本の習慣では、年末には大掃除をして家の中や身の回りをきれいにしてお正月を迎えます。みなさんの家でもおうちの方がお掃除などで忙しいと思います。自分の部屋はもちろん、家のお手伝いをしっかり行って、家族の一員として働きましょう。

年末年始の過ごし方は、このほかにもたくさんあります。その一つひとつに大事な意味があることをぜひ知ってほしいと思います。そして、この一年を無事過ごせたことに感謝の気持ちを持ってほしいです。安全で楽しい、よい冬休みであることを心から祈っています。



ひ	とつにみんなでまとまろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子